

夢の光実現に向けて

東北放射光施設誘致シンポジウム

大郷町では、高性能研究分析施設である「東北放射光施設」を誘致し、地域経済の活性化を図るとともに、東北の未来づくりを加速する役割を担う大郷町の実現に向け、取り組んでいます。

町民の皆さんに、東北放射光施設への理解を深めていただくために、本シンポジウムを開催いたします。

日時 平成26年2月2日(日) 午前10時～正午
会場 大郷町文化会館 大ホール
主催 大郷町

あいさつ 10:00～

講演 10:30～

「東北の未来を加速する放射光施設」

東北大学名誉教授

わ せ だ よ し お
早稲田 嘉夫 氏



1945年愛知県小牧市生まれ

1973年3月に東北大学大学院工学研究科金属材料工学専攻を修了し、工学博士となる。

1973年4月に東北大学助手（選鉱製錬研究所）となり、大学教員としてのスタートをきる。

1986年教授、その後、選鉱製錬研究所所長、素材工学研究所長、多元物質科学研究所長を経て、

2002年から東北大学副総長（総務担当）、2004年理事を歴任し2009年3月に東北大学を退職。

その後は東北大学名誉教授・多元物質科学研究所教育研究支援者（非常勤）として研究を進めながら、

放射光科学分野の開拓者の一人として、東北放射光施設構想の企画立案・推進に努め、現在に至る。



兵庫県の大型放射光施設
Spring-8（スプリングエイト）

～放射光施設とは～

電子を全長数百メートルのリング型加速器や線形型加速器に入れ、光とほぼ等しい速度まで加速させ、磁場の力で電子を曲げた際に発生する電磁波（放射光）を利用して物質の構造を分析する装置です。放射光を当てて得られる原子の回析像を調べると、物質の性質を決める結晶構造情報がわかります。

生命科学や医療、エレクトロニクスなど幅広い分野に利用されています。